

森の味わい クイズ



()内の正しいと思うものを○で囲んで下さい

天津の森

森林植物園には「天津の森」を含めて4つの姉妹都市にちなんだ国際親善の森があります。

国際親善の森のゾーン名称として正しいのはどれですか。

- (①上海の森 ②ニューヨークの森 ③シアトルの森)

「天津の森」では早春から春にかけて、黄色～黄緑系統の濃淡の花や葉が見ごろになります。

下記のうち、花や葉が黄色～黄緑系統でないものはどれですか。

- (①シダレエンジ ②オウバイ ③ベニバナトチノキ)

春



芝生広場～見本園

見本園を通る園路沿いにカラマツの林があり、芽吹きの様子は北国の春の訪れを感じることができる、神戸では貴重な林です。

カラマツは(①四国 ②信州 ③九州)を自生地としますが、生き物全般に見られる現象として、新しい環境に馴れて新しい場所で育つことがあります。このような環境への馴れのことを、順化といいます。

さらに、カラマツの自生地ではカラマツの下にレンゲツツジが咲きますが、ここでは(①コバンミツバツツジ ②シャクナゲ ③ノイバラ)が育ち、神戸の森林植物園でしか見られない景色としておすすめです。



香りの道

「香りの道」とは、良い香りのする木と森林の景色を味わいながら散策のできるコースです。

遠くに山々の尾根と空の境目が見て、歩きながら景色の変化を楽しむことができます。

山々の尾根には、ところどころにアカマツが生えているのが見えます。

アカマツは(①湿った場所 ②乾燥した場所 ③排気ガスの多い場所)に耐えて育ちます。このような環境条件では多くの植物が生育にくく、アカマツが優勢に繁茂してこのような景色になります。

あじさい園

梅雨の森林植物園といえばアジサイ。森林植物園のある六甲山地では、江戸時代後期に来日したシーポルトが発見し、その後長い間実物が確認されていなかった(①ヤマアジサイ ②ヒメアジサイ ③シチダンカ)が見つかり、六甲の(①「幻の名花」 ②「初夏の名花」 ③「青色の名花」)と呼ばれ親しまれています。

夏

イロハモミジの株もとには、坂道に沿って(①シチダンカ ②ヒメアジサイ ③ヤマジサイ)があります。このアジサイの葉のつき方をみると、同じ位置から葉が(①輪になって ②対になって ③交互に)出ています。このような葉のつき方を「対生」といいます。さらに上の段と下の段を見比べると、90°になって交互についています。このようなつき方はアジサイの特徴で(①平行対生 ②三角対生 ③十字対生)といいます。

見ごろの季節のご案内



冬

あじさい坂から西門へ

冬のあじさい坂には、枝先の冬芽が毛皮のコートを着たようなコブシやモクレンがあります。ふわふわした毛に包まれた冬芽は

- (①病気にならないため ②寒さや乾燥から身を守るために

- ③虫に食べられないため)の工夫です。

あじさい坂を下り右へ西門にいく園路のすぐ左には、真冬でも葉が落ちないカエデ科の樹木があります。(①チドリノキ ②ワタリドリノキ ③ミズドリノキ)といい、その名前は果実または葉のつき方がその鳥の飛ぶ姿に似ていることに由来します。

西門付近

以前、森林植物園の正門であった西門から「うさぎのくに」に向かう途中にあるメタセコイアは、アケボソヌギという別名にふさわしく、紅葉は美しいあけぼの色になります。

メタセコイアは、むかし化石で見つかっていましたが、生きたメタセコイアが1945年(①日本 ②インドネシア ③中国)で発見されました。その後アメリカで育てられた苗木が、日本に贈られてきました。

ここにある手前の3本のメタセコイアは、その時の寄贈木で記念すべきものです。

秋

国際親善の森

プリベーンの森は(①スペイン ②アメリカ ③オーストラリア)にある神戸市の姉妹都市を記念した森です。深呼吸してみましょう。ユーカリノキのさわやかな香りがします。ユーカリノキは(①ビーパー ②カンガルー ③コアラ)のえさになり、樹の皮がむけていく様子がおもしろい樹木です。

[ヒント!] その動物は600種類以上のユーカリノキのうちでも、数種類のものしか食べないそうです。

長谷池

長谷池周辺を見渡すと、周囲は山に囲まれ水の集まりやすい様子がわかります。池のそばで湿度が高いためか、園内でも紅葉の美しい場所です。

特に赤色の紅葉が美しいウリハカエデ、イロハモミジや、黄葉が美しい(①モチツツジ ②タカノツメ ③ハナノキ)などを見ることができます。

森林植物園 ガイドマップ

森の味わいケイズ

目次

